

練馬区立南町小学校



# 南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成27年9月30日

校長 福田 俊彦

## 運動会に思う

校長 福田 俊彦

子供たちは、みんなの6年生の姿をあこがれとして南町小学校の運動会を創っています。当日は、多くの方々に、子供たちが創り上げる運動会をお楽しみいただけることと思います。運動会について、子供たちに話していることです。「最後まで自分の力を出すこと。」「友達の気持ちを元気にする応援をすること。」「支えてくださった多くの方々へ感謝の気持ちをもつこと。」先日、応援団の練習がありました。紅白に分かれ、自分たちの応援を繰り広げている姿を、校庭に出てきた多くの子供たちがじっと見つめていました。応援団の気持ちが、姿、言葉を通して、既に全校の子供たちに伝わっているように思える瞬間でした。

その日の昼休み、応援団長に校長室へ来てもらい、話をする場を設けました。応援団長としての抱負を聞きたかったのです。そして、応援団長の思いを全校の児童に受けとめてもらいたかったのです。応援団長は次のように話しました。

「自分たちの応援で、みんながどんな時もあきらめない運動会にしたい。白組の気持ちをひとつにする。」

「自分たちの応援で、みんなの背中を押すことができるようにしたい。そして、運動会を盛り上げていく。」

どうでしょうか。6年生としての、応援団長としての気持ちがこもった言葉ではないでしょうか。この言葉からも分かるように、全校一人ひとりの子供に昨日よりも今日の成長を感じることができます。子供は体験そのものを通して学んでいます。そのことを指導している先生が認め、励ましているからでしょう。そして、子供の気持ちが、自分たちの運動会であるという高まりへとつながっているからでしょう。運動会という学校行事からの学びを、運動会だけで留めてはよくないと考えています。これまでの学校生活での学びが運動会を創る原動力となり、その運動会での学びがこれからの学校生活をよりよくする原動力となります。繰り返し子供たちに伝えてきた3つのことをもとにして、子供の活動を価値付け、子供の自信としていきます。ご家庭でもお子さんの姿を通して、がんばり、思いやり、感謝の気持ちをさらに高めるお話をしていただければ幸いです。

今後とも保護者、地域の皆様には、南町小学校の子供をみんなの子供として見守っていただけますようお願いをいたします。